

事務事業名	南アルプス世界自然遺産登録推進事業		所属部局	農林商工部		単位番号	6220		
			所属課室	みどり自然課		課長名	戸栗 香		
	☐ 実施計画事業		所属担当	自然保護推進		担当者名	河西 政彦		
基本政策	基本計画	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	
政策	19	自然環境の保全と活用	事業区分	01	一般	06	02	01	
施策	32	自然と共生する地域づくり							
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度)			法令根拠	なし				
事業の内容	期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (22年度)					
事務事業の概要	南アルプス世界自然遺産登録の為のPR事業等		項目(細節)	金額(千円)		項目(細節)	金額(千円)		
			普通旅費	57					
						計	57		

1 現状把握 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	22年度活動実績	推進協議会総会、COP10への参加、関係省庁打ち合わせ等
	23年度活動予定	推進協議会総会、世界遺産フォーラム、関係省庁との打ち合わせ等
② 対象 (この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	国民	
③ 意図 (この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	南アルプスの自然環境保護に対する国民意識の向上	
④ 上位目的 (どのような結果に結び付けるのか)	世界自然遺産登録、ジオパーク登録、ユネスコ・エコパーク登録	

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	会議等開催回数	回
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	国民	人
⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	各種イベント参加者数	人
⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	各種登録	件

(2) 事業費・指標の推移			単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	713	57	78	76	76	76	
		事業費計 (A)	千円	713	57	78	76	76	76	0
	人件費	正規職員従事人数	人							
		延べ業務時間	時間			100	100	100	100	
		人件費計 (B)	千円	0	0	396	396	396	396	0
		(A)+(B)	千円	713	57	474	472	472	472	0
活動指標		ア	回	1.0	1.0	1.0				
		イ								
対象指標		ア	人	127,510,000.0	127,510,000.0	127,510,000.0				
		イ								
成果指標		ア	人	1,300.0	40,000.0	300.0				
		イ								
上位成果指標		ア	件	0.0	0.0	0.0				
		イ								

(3) この事務事業を取り巻く状況 (対象者・社会状況等) の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	H18年度に静岡市議会議員による世界自然遺産登録の機運が高まり、静岡市が先頭になり南アルプス国立公園を有する山梨、長野、静岡 (3県10市町村) で各県推進協議会が発足され、それを受けて南アルプス世界自然遺産登録推進協議会を設立した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	5年目を迎えるが世界遺産登録は容易では無い為、今後もPR活動を続ける。
③ 事務事業に対して関係者 (市民、事業対象者、議会等) からどんな意見・要望が寄せられているか?	世界遺産登録によって国立公園内の事業が規制される事に懸念している部分もあるが、全世界へのPR材料となる為事務事業の推進要望が見られる。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☒ 取り組みしている ⇒ [内容↓] ☐ 取り組みしていない ⇒ [理由↓]
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	PR活動の方策を考えて実施している。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	COP10などの世界国際会議にブース出展をして、国内外にPR活動している。

事務事業名	南アルプス世界自然遺産登録推進事業	所属部	農林商工部	所属課	みどり自然課
-------	-------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価 (Check1) 担当者による事後評価 (複数年事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない (見直し余地がある) ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由 ↓] 貴重な自然を保全して、将来に継承していくとともに、その価値を高め人類共有の財産とする。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由 ↓] 世界自然遺産登録には、自治体、市民等それぞれの役割があるので、本市でおこなわなければならない。
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由 ↓] 貴重な自然を保全して、将来に継承していくとともに、その価値を高め人類共有の財産とするためには継続が必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒ [理由 ↓] 南アルプスは、3県10市町村にまたがっているため、10市町村が協力・連携してはじめて成立するため。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒ (類似する事務事業の名称を記入 ↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒ [理由と具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒ [理由 ↓] ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒ [理由と影響の内容 ↓] ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒ [理由 ↓] 山梨、長野、静岡県3県10市町村で行っているため、脱退すればこの事業が成り立たない。山梨、長野、静岡県3県10市町村で行っているため、本市だけの脱退はできない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費 (コスト) を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由 ↓] 事業活動は、総会、PR活動なので、大きなコストが元々かけてない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？ (事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由 ↓] 事業活動は、総会、PR活動なので、大きな人件費が元々かけてない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由 ↓] 現状の事務事業では一部偏った考はなく、一般市民に発信しているので、公平である。

3 評価 (Check2) 担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括 (事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	平成19年度に静岡県、長野県、山梨県の南アルプスに隣接する10市町村が南アルプス世界自然遺産登録推進協議会を設け、その作業を行っているところである。平成23年度からはその登録基準のひとつである生物多様性を特だして、ユネスコ・ジオパークの登録に向けユネスコ・エコパーク登録検討委員会を立ち上げた。なお、その事務局は南アルプス市が行うことが、決定している。また、やはり登録基準の一つである地形地質のジオパークについても今後速やかに日本ジオパークに登録を行っていく必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める)・・・複数選択可 ☐ 廃止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携 (有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善 (公平性⑨の結果) ☐ 休止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上 (有効性④の結果) ☒ 現状維持 (全評価項目で適切) ☐ 必要性検討 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減 (効率性⑦、⑧の結果) (2) 改革改善案について ①南アルプスが世界自然遺産に値することの普及啓発活動浸透させる。		(3) 改革・改善による方向性 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ①国民一般に理解度を高めるため、今後も普及活動を展開していく。		(5) 事務事業優先度評価結果 <table><tr><td>成果優先度評価結果</td><td>⑥</td></tr><tr><td>コスト削減優先度評価結果</td><td>⑨</td></tr></table>		成果優先度評価結果	⑥	コスト削減優先度評価結果	⑨																	
成果優先度評価結果	⑥																							
コスト削減優先度評価結果	⑨																							